

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課 社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------------	---------	----------

継続	予算事業コード	6500
----	---------	------

No.	1001	補助金名	下田市文化協会補助金				
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則					
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育		施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興		
	施策	文化・芸術活動の活性化を図ります					
補助対象者	下田市文化協会			事務局等	下田市文化協会		
補助金の性質	運営費的補助						
補助開始年度	H13	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	250,000	0	250,000
R04	250,000	0	250,000
R03	250,000	0	250,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	68,640	0	68,640
R02	68,640	0	68,640
R01	250,000	0	250,000
H30	250,000	0	250,000
H29	250,000	0	250,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	平成13年、それまでの芸術連盟から、より広範囲な団体・個人を対象とした文化協会が発足した。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	文化団体によって構成される本市唯一の連合組織であり、他に類似団体はない。
当初目的の達成度	平成13年文化協会発足以来、活動も安定してきたが、会員の高齢化が進んでいるため今後は若年層の会員増加がテーマである。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	芸術祭を開催するなど、地域の文化振興・向上にとっては必要不可欠な団体であるため、補助金交付による活動の維持が必要であると考え。また、廃止により文化活動の衰退、芸術祭の開催に支障が生ずる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	芸術祭開催等により、市民に芸術文化等の活動成果の発表機会と鑑賞機会を提供することにより、市民の自主的な文化活動の活性化が期待できる。	8
市が補助すべき理由	※②	文化団体が行う活動を支援し、自主的な文化活動の活性化及び市民文化の振興を図るため。	9
目的・内容		文化団体が行う活動を支援することにより、文化活動の活性化及び市民文化の振興を図るため、市内の文化団体の連合組織である下田市文化協会に対し補助金を交付する。	9
補助金の主な使途	※③	芸術祭の事業費、会報発行のための広報費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		芸術祭の執行経費等の運営費補助として定額（25万円）を交付している。令和2年度・令和3年度に芸術祭を中止としているため、繰越金が増加している。	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R3 決算 繰越金140,914円 補助金額68,640円	3
成果・費用対効果	※④	文化協会会員の地域での活動の成果から、各地区における文化展も活発化し文化・芸術の裾野の広がりが見られる。 【芸術祭（参加作品数・団体数/入場者数）】 R03年度・R02年度:中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） R元年度:186点.35組/4,149人 H30年度:194点.34組/3,031人 H29年度:180点.30組/3,360人	7

①公益性	8
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	6
------	---

④効果	7
-----	---

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------	-------	---------	----------

継続	予算事業コード	6701
----	---------	------

No.	1002	補助金名	下田市体育協会補助金
-----	------	------	------------

根拠法	なし
-----	----

交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則
---------	-------------

総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策6 生涯スポーツの振興
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します		

補助対象者	NPO法人下田市体育協会	事務局等	NPO法人下田市体育協会
-------	--------------	------	--------------

補助金の性質	運営費の補助
--------	--------

補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし
--------	---	--------	----	-----	----	----------------	----

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	490,000	0	490,000
R04	510,000	0	510,000
R03	510,000	0	510,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	510,000	0	510,000
R02	355,000	0	355,000
R01	155,000	0	155,000
H30	155,000	0	155,000
H29	155,000	0	155,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	各スポーツ団体を構成団体として体育協会が組織された。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	地域内で活動するスポーツ団体を統括する機関であり、他に類似団体はない。
当初目的の達成度	協会・加盟団体の行う事業を通し地域のスポーツ交流、人材育成に成果が上がっている。 【加盟団体数】令和3年度13団体、令和2年度13団体 令和元年度13団体 H30年度13団体 H29年度13団体
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	NPO法人化しているが、自主事業で活動費を得るまでに至っていないため補助金廃止により活動が衰退する。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	健康志向が高まる中、市民の身近な所で、スポーツを通じて健康づくりの場の提供が不可欠であり、市民生活の向上に貢献可能である。	8
市が補助すべき理由	※②	市のスポーツ行政の補完的役割を果たしスポーツ活動の場を提供する体育協会を支援するため最低限の補助金は必要である。	9
目的・内容		本市のスポーツ振興の普及・振興に中心的役割を担っている体育協会を支援することにより、市のスポーツ振興及び市民の健康増進・体力向上を図る。	9
補助金の主な使途	※③	育成事業費、表彰事業費	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		定額補助（20,000円×競技別協会数＋体育協会事業費）	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R3決算 繰越金546,422円 補助金額510,000円	3
成果・費用対効果	※④	体育協会加盟団体の事業に多くの市民が参加し、競技を通じ交流と親睦も図られ、市民のスポーツ活動の充実に貢献している。	7

①公益性	8
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	6
------	---

④効果	7
-----	---

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		生涯学習課		社会教育係		記載者職・氏名		係長 中堀 啓司	
継続		予算事業コード		6701					
No.	1003	補助金名		下田河津間駅伝競走大会実行委員会補助金					
根拠法		なし							
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則							
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育				施策体系	施策6 生涯スポーツの振興		
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します							
補助対象者	下田河津間駅伝競走大会実行委員会				事務局等		下田市教育委員会生涯学習課		
補助金の性質	活動費的補助								
補助開始年度	—	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし		

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	400,000	0	400,000
R04	400,000	0	400,000
R03	600,000	0	600,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	321,000	0	321,000
R02	210,000	0	210,000
R01	170,000	0	170,000
H30	350,000	0	350,000
H29	350,000	0	350,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	下田・伊東間駅伝大会が交通事情の悪化により、下田河津間駅伝大会として下田市、河津町の共同開催として行われるようになった。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	広域（賀茂地区）の参加があり、チーム数も70～80チームと大規模なスポーツイベントとして定着し、開催目的を果たしていると考えられる。令和元年度・令和2年度は当日荒天のため中止。令和3年度は、コロナのため中止 【参加チーム数】R03年度/21チーム R02年度/28チーム R元年度/72チーム H30年度/81チーム H29年度/80チーム
同一団体への他の補助金の有無	河津町からの補助金（32.1万円）
廃止の見込み、廃止の影響	必要最小限の経費で事業を行っており補助金なしでの大会開催は困難。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	賀茂地区のスポーツ行事として、昭和46年から続く伝統ある大会であり、地域住民はもとより賀茂地区から広くエントリーがある。参加者の体力向上と参加者間交流の観点から公益性のある事業である。	7
市が補助すべき理由	※②	大会は新春恒例行事として定着しており、下田市・河津町の共同開催事業でもあることから市が補助することは妥当である。	9
目的・内容		地域住民の体力増進及び賀茂地区住民の交流促進を図るため、下田・河津間駅伝競走大会を開催する大会実行委員会へ開催経費の一部を補助する。	9
補助金の主な使途	※③	選手送迎用バスや仮設トイレの借上料、走路員等の謝礼など	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		河津町と同額の21万円（開催経費から参加費・協賛金を除いた額の1/2以内）消費税引き上げに伴う経費の増加及び老朽化が進んでいる備品（タイム計測機器等）の、計画的更新を図るため、H27年度より補助金を35万円に増額。H30年度より仮設トイレの設置箇所が増えたため、R元年度補助金額からは40万円に増額とした。R元年度・令和2年度は当日荒天のため中止。令和3年度は、コロナのため中止	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R3決算 繰越金590円 補助金額321,000円	9
成果・費用対効果	※④	大会への参加、沿道での応援など、市民がスポーツに接する機会を増やすことで、スポーツ活動の拡大に一定の効果を持っている。また、市内外から大勢の参加者があるため、スポーツの振興だけでなく、地域の振興、活性化にも貢献している。	8

①公益性 7

②必要性 9

③適格性 8

④効果 8

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		生涯学習課		社会教育係		記載者職・氏名		係長 中堀 啓司	
継続		予算事業コード		6701					
No.	1004	補助金名		下田河津間駅伝競走大会実行委員会補助金(感染症対策分)					
根拠法		なし							
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則							
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育				施策体系	施策6 生涯スポーツの振興		
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します							
補助対象者	下田河津間駅伝競走大会実行委員会				事務局等		下田市教育委員会生涯学習課		
補助金の性質	活動費的補助								
補助開始年度	R2	補助終期設定		なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし	

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	0	0	0
R04	100,000	300,000	400,000
R03	50,000	350,000	400,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0
H29	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	コロナウイルス感染症対策として感染症対策分を別計上
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	広域(賀茂地区)の参加があり、チーム数も70~80チームと大規模なスポーツイベントとして定着し、開催目的を果たしていると考えられる。令和元年度・令和2年度は当日荒天のため中止。令和3年度は、コロナのため中止 【参加チーム数】R03年度/21チーム R02年度/28チーム R元年度/72チーム H30年度/81チーム H29年度/80チーム
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	コロナウイルス感染症が収束すれば問題ない

○評価点 (10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示)

公益性の所在	※①	賀茂地区のスポーツ行事として、昭和46年から続く伝統ある大会であり、地域住民はもとより賀茂地区から広くエントリーがある。参加者の体力向上と参加者間交流の観点から公益性のある事業である。	7
市が補助すべき理由	※②	大会は新春恒例行事として定着しており、下田市・河津町の共同開催事業でもあることから市が補助することは妥当である。	9
目的・内容		地域住民の体力増進及び賀茂地区住民の交流促進を図るため、下田・河津間駅伝競走大会を開催する大会実行委員会へ開催経費のコロナウイルス感染症対策分を補助する。	9
補助金の主な使途	※③	選手送迎用バスや感染症対策消耗品代など	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		河津町と同額の21万円(開催経費から参加費・協賛金を除いた額の1/2以内) バス @70千円×10台×1/2=350千円 消耗品(マスク・消毒液等) @100千円×1/2=50千円 令和元年度・令和2年度は当日荒天のため中止。 令和3年度は、コロナのため中止。	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		R3決算 0円(大会当日中止のため)	9
成果・費用対効果	※④	大会への参加、沿道での応援など、市民がスポーツに接する機会を増やすことで、スポーツ活動の拡大に一定の効果을 上げている。また、市内外から大勢の参加者があるため、スポーツの振興だけでなく、地域の振興、活性化にも貢献している。	8

①公益性 7

②必要性 9

③適格性 8

④効果 8

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------	-------	---------	----------

要望があれば実施	予算事業コード	6701
----------	---------	------

No.	1005	補助金名	全国大会等出場費補助金				
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市全国大会等出場費補助金交付要綱					
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育		施策体系	施策6 生涯スポーツの振興		
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します					
補助対象者	全国大会等出場者			事務局等	ー		
補助金の性質	活動費的補助						
補助開始年度	H24	補助終期設定	なし	補助率	1/2	1件当たり 補助上限額	30,000

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	60,000	0	60,000
R04	60,000	0	60,000
R03	60,000	0	60,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	49,000	0	49,000
H30	0	0	0
H29	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	各種大会において好成績をあげた市民が全国大会等に出場する場合に多額の経費を要するため、その経費の一部支援が求められている。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	全国大会等へ参加する際には地理的な面からも金銭的な負担が大きくなるが、補助を行うことで参加への敷居がさがっている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	全国大会等への参加の金銭的な負担が大きくなり、児童生徒のスポーツや文化活動の衰退につながる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	受益者は限定されるが、全国大会等への出場は市民に明るい話題を提供するとともに、青少年の健全育成及びスポーツの競技力にも繋がるものである。	6
市が補助すべき理由	※②	全国大会等に出場する場合、交通費や宿泊費に多くの費用を要し、日頃の努力により全国大会等に出場する選手等に対し財政的支援として補助金を交付することは青少年の健全育成及びスポーツ競技力の向上にも繋がるものであり妥当。	8
目的・内容		青少年の健全なスポーツの振興を図るため、市等を代表して東海大会以上の規模の大会に出場する個人又は団体の参加に要する経費の一部を助成をする。	8
補助金の主な使途	※③	往復旅客運賃、バス借上料及び機材等の輸送費並びに宿泊料	8
予算要求額の算出根拠・算出方法		補助対象経費（往復旅客運賃、バス借上料及び機材等の輸送費並びに宿泊料）の1/2以内	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越しなし。（単年度ごとの補助）	10
成果・費用対効果	※④	【補助実績】R03年度0件 R02年度0件 R元年度2件 H30年度0件 H29年度 0件	7

①公益性	6
------	---

②必要性	8
------	---

③適格性	9
------	---

④効果	7
-----	---

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
-------	-------	-------	---------	----------

要望があれば実施	予算事業コード	6500
----------	---------	------

No.	1006	補助金名	下田市指定文化財保存費補助金				
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市指定文化財保存費補助金交付要綱					
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育		施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興		
	施策	文化財などを保存、継承、活用します					
補助対象者	宗教法人 天神神社			事務局等	－		
補助金の性質		活動費的補助					
補助開始年度	－	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	0	0	0
R04	0	0	0
R03	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0
H29	3,788,200	0	3,788,200

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	市指定文化財の保存と活用を図るため
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	改修を行うことで、適切な保護保存がはかれている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	下田市指定文化財の保護保存ができなくなる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	市指定文化財への補助である。	8
市が補助すべき理由	※②	市指定文化財の保存と活用を図り、市民の文化向上を資するため、補助金を交付するもの。	9
目的・内容		市指定文化財に対する補助	9
補助金の主な使途	※③	修復、改修費用	9
予算要求額の算出根拠・算出方法		補助金交付要綱あり。 補助率は当該費用の2分の1以内とする。	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越しなし。（単年度ごとの補助）	10
成果・費用対効果	※④	市指定文化財の保護保存を図る。	9

①公益性	8
------	---

②必要性	9
------	---

③適格性	9
------	---

④効果	9
-----	---

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		生涯学習課 社会教育係		記載者職・氏名		係長 中堀 啓司	
廃止		予算事業コード		6700			
No.	1007	補助金名		東京オリンピック・パラリンピック下田市推進協議会補助金			
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則					
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育			施策体系	施策6 生涯スポーツの振興	
	施策	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します					
補助対象者		東京オリンピック・パラリンピック下田市推進協議会		事務局等	下田市教育委員会生涯学習課		
補助金の性質		運営費の補助					
補助開始年度	R元	補助終期設定	R3	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	0	0	0
R04	0	0	0
R03	5,000,000	0	5,000,000

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	2,937,227	0	2,937,227
R02	91,393	0	91,393
R01	205,722	0	205,722
H30	0	0	0
H29	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた事業の実施。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	協議会をたちあげ、開催に向けて機運醸成をはかっている。
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	東京オリンピック・パラリンピックが終了したため、問題ない

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通し地域意識の高揚に寄与する。	9
市が補助すべき理由	※②	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する事業の実施のため必要。	9
目的・内容	※②	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を地域の活性化につなげることを目的とする。	9
補助金の主な使途	※③	機運醸成事業、聖火リレー事業など	9
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	補助対象経費	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	※③	R3 決算 繰越金0円 補助金額2,937,227円	10
成果・費用対効果	※④	コロナウイルスの感染拡大のため、2021年に延期となったオリンピック・パラリンピックの聖火リレー、機運醸成・レガシー事業を行った。	8

①公益性 9

②必要性 9

③適格性 9

④効果 8

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係	生涯学習課	社会教育係	記載者職・氏名	係長 中堀 啓司
要望があれば実施	予算事業コード	6500		
No.	1008	補助金名	文化財保護事業補助金	
根拠法	なし			
交付要綱等名称	下田市補助金等交付規則			
総合計画の位置付け	分野	2 子育て・教育	施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興
	施策	文化財などを保存、継承、活用します		
補助対象者	宗教法人 玉泉寺		事務局等	ー
補助金の性質	活動費的補助			
補助開始年度	H30	補助終期設定	R元	補助率
		国県補助対象事業費のうち国及び県補助金の額を差し引いた額の1/2以内		1件当たり補助上限額
				なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	0	0	0
R04	0	0	0
R03	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	1,259,000	0	1,259,000
H30	0	0	0
H29	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	国指定史跡玉泉寺のロシア人墓が傾いており、墓石の倒壊、崩落を防ぐため、ロシア人墓地全体の改修を行うもの。
国・県等の補助の有無	国：1/2 2,500,000円 県：1/6 833,000円
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	国：1/2 2,500,000円 県：1/6 833,000円 所有者1/6 833,000円
廃止の見込み、廃止の影響	指定文化財や準指定文化財の保護保存が行えなくなる。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	国指定史跡への補助である。	8
市が補助すべき理由	※②	国指定文化財（史跡）の保護保存を図るため。	9
目的・内容		国指定史跡の保護保存を図るため、傾いてきているロシア人墓地周辺の改修を行うもの。	9
補助金の主な使途	※③	修復、改修費用	9
予算要求額の算出根拠・算出方法		国県補助対象事業費のうち国及び県補助金の額を差し引いた額の1/2以内	9
繰越額・積立額と補助金交付額との比較		繰越しなし。（単年度ごとの補助）	10
成果・費用対効果	※④	-	9

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 9

④効果 9

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		生涯学習課 社会教育係		記載者職・氏名		係長 中堀 啓司	
新規		予算事業コード		6500			
No.	1009	補助金名		まどが浜文化イベント実行委員会補助金			
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則					
総合計画の 位置付け	分野	2 子育て・教育			施策体系	施策5 歴史・文化の伝承と芸術の振興	
	施策	文化・芸術活動の活性化を図ります					
補助対象者		まどが浜文化イベント実行委員会			事務局等	VILLAGE INC.	
補助金の性質		活動費の補助					
補助開始年度	R4	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	1,055,000	0	1,055,000
R04	1,900,000	0	1,900,000
R03	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0
H29	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	まどが浜海遊公園の有効活用を推進するもの。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	イベントの開催方法(内容・場所)を変更する。

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	子ども達の習い事の発表・参加機会を提供することにより、市民の自主的な文化・スポーツ活動の活性化が期待できる。	8
市が補助すべき理由	※②	まどが浜文化イベントを実施するため	9
目的・内容	※②	子ども達の習い事の発表の場・参加機会の確保及びまどが浜海遊公園の有効活用	9
補助金の主な使途	※③	まどが浜文化イベントの事業費	-
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	まどが浜文化イベント2回分の開催事業費の見積額	8
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	※④	繰越しなし。（単年度ごとの補助）	-
成果・費用対効果	※④	-	-

①公益性 8

②必要性 9

③適格性 8

④効果 -

令和4年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係		生涯学習課 社会教育係		記載者職・氏名		係長 中堀 啓司	
新規		予算事業コード		6500			
No.	1010	補助金名		下田市スポーツ合宿・大会誘致推進協議会補助金			
根拠法		なし					
交付要綱等名称		下田市補助金等交付規則					
総合計画の 位置付け	分野	3 観光・産業・雇用・移住促進		施策体系	施策1 特色ある観光業の振興		
	施策	新たな人の流れを生み出す環境を整備します					
補助対象者		下田市スポーツ合宿・大会誘致推進協議会		事務局等	下田市教育委員会生涯学習課		
補助金の性質		活動費的補助					
補助開始年度	R4	補助終期設定	なし	補助率	なし	1件当たり 補助上限額	なし

○予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
R05	500,000	0	500,000
R04	500,000	0	500,000
R03	0	0	0

○過去5年間の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算額
R03	0	0	0
R02	0	0	0
R01	0	0	0
H30	0	0	0
H29	0	0	0

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	下田市の施設・自然を活かし、スポーツ合宿や大会誘致を推進するもの。
国・県等の補助の有無	なし
代替手段との比較	なし
当初目的の達成度	-
同一団体への他の補助金の有無	なし
廃止の見込み、廃止の影響	-

○評価点（10点満点で評価。上記の※数字が複数あるものは、各項目の点数を平均して表示）

公益性の所在	※①	交流人口の増加を図ることで地域の活性化に繋げる。	6
市が補助すべき理由	※②	スポーツ合宿や大会誘致を推進するため	7
目的・内容	※②	スポーツ合宿・大会の誘致を推進するための事業を実施する。	6
補助金の主な使途	※③	誘致活動費等	-
予算要求額の算出根拠・算出方法	※③	-	7
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	※③	繰越しなし。（単年度ごとの補助）	-
成果・費用対効果	※④	-	-

①公益性 6

②必要性 7

③適格性 7

④効果 -